

宇都宮東部地域の道路交通状況について

宇都宮東部地域渋滞対策協議会について (R3~R5)

R6.9 第1回協議会資料抜粋

産・学・官が連携し、ICTを活用した渋滞対策に関する社会実験を実施し、宇都宮市東部地域における円滑な交通の確保を図ることを目的に設立

【協議会での成果】

①道路の渋滞緩和

- ・ CCTVを活用したAI画像解析、LED表示板を用いた自動車交通量の平準化などの社会実験等を実施し、LRT導入に伴う道路環境の変化により懸念された道路交通の大きな混乱はないことを確認。

●自動車交通量の変化



●LED表示板を用いた自動車交通量平準化



芳賀・宇都宮地域交通対策協議会について (R6~)

産・学・官が連携して、芳賀町及び宇都宮市における既設の道路ストックを有効に活用し、交通全体の利便性向上を図るための協議を行うことを目的として設立

【協議事項】

- (1) 地域内の道路交通量・基幹公共交通利用等の現状分析に関すること
- (2) 現地実証実験の実施、効果分析及び検証に関すること
- (3) その他、交通全体の利便性向上に必要な事項に関すること

【協議を深めていく上での新たな取り組み】

- ・ 事務局の連携強化 (従前の栃木県から国土交通省、宇都宮市、芳賀町を追加し、一体的に議論を強化)
- ・ LRT導入後において、LRTを含めた交通全体の利便性が向上されているかを検討していく

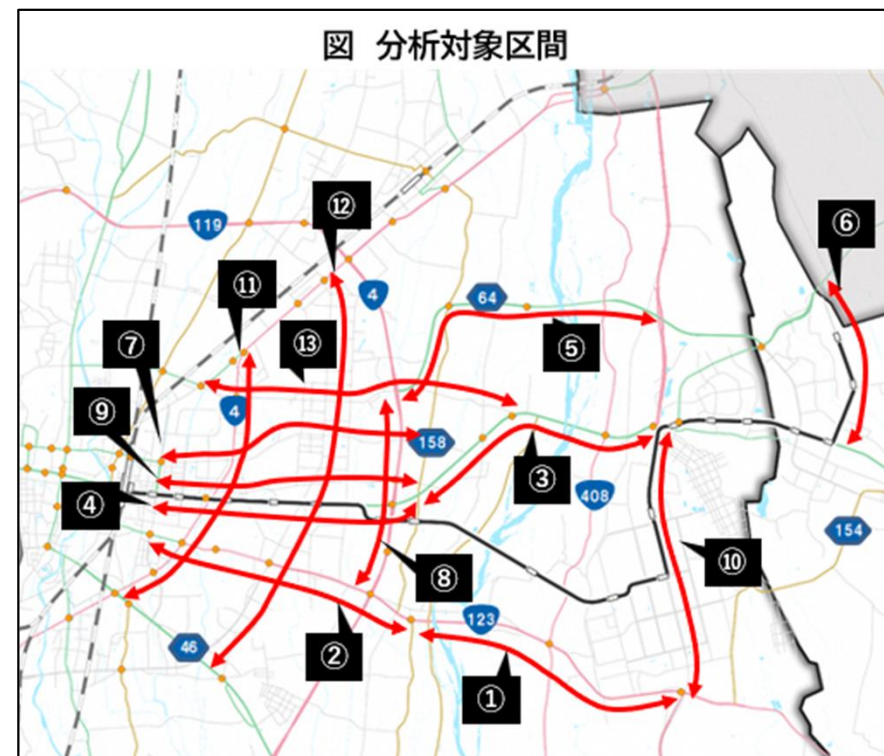
宇都宮東部地域の道路交通状況について（第2回協議会の振り返り）

(1)「宇都宮市東部地域の交通量の推移について」

- ①鬼怒川渡河部：自動車交通は、コロナ禍前より減少しており、ライトラインの開業後の1年間においてもその**状態が維持**されている。
- ②市街地部：鬼怒通りにおいて、**交通量が減少**しており、産業通り等において、**交通量が増加**している。

➤引き続き、宇都宮市東部地域における交通量の推移やライトライン利用者の交通手段転換状況を確認するため、調査分析を行っていく。

➤ 今後は、**ETC2.0のプローブデータ**を活用し、ライトライン並行路線や、南北の主要道路等の13路線において、交通流動の変化を分析していく。



宇都宮東部地域の道路交通状況について

- 1 宇都宮市東部地域の交通量の推移について
 - ①宇都宮市東部地域の交通量の推移について（栃木県・宇都宮市）
 - ②WEBカメラを活用したAI画像解析について（宇都宮大学）
- 2 ETC2.0を活用した交通分析について
 - ①ETC2.0を活用した所要時間の分析について（宇都宮市）
 - ②LRT開通前後の旅行速度比較（宇都宮国道事務所）
- 3 今後の取組について